

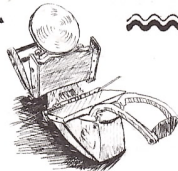
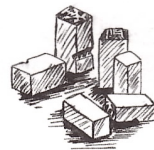
# たりないかつじのためのことば てん

2013年10月に東京都内千代田のギャラリー「馬喰町ART+EAT」で開催され、話題となった展覧会が釜石に巡回します。

三陸の港町・釜石の「藤澤印刷所」で、東日本大震災を生きのびたわずかな活字。人の手から手へと託されたその「足りない活字」のために、12人の作家が「ことば」を紡ぎました。限られた数の活字で印刷できる、「ことば」だけで構築した詩、短歌、あるいは俳句が12点生まれ、さらに、「ことば」に寄り添う挿絵(版画)を、国内外の7組のアーティストが制作しました。「ことば」は、版画家溝上幾久子が釜石の活字で組版し、手動の活版印刷機で刷り上げました。そんな12枚の「ことば」と7枚の版画による、1冊の本のような展覧会です。

巡回展は、「藤澤印刷所」にほど近い、釜石の新たなコミュニティ・スペース 釜石商店街「みんなの家 かだつて」からスタートします。不自由であることを前提にはじまった表現者たちの取り組み、そして釜石の産業を長年支えてきた、味わい深い活字たちのことを多くの方々と分かち合いたいと思います。会期中には朗読会などのイベントも実施しますので、ぜひお立ち寄りください。

開催によせて



## 活版体験

### ワークショップ

2014年5月5日(月・祝) 11:00~17:00

今回の作品を印刷した手動活版印刷機でオリジナル活字カードを刷ってみませんか？活字を提供して下さった、藤澤敏さんと版画家溝上幾久子さんによるミニ・トークセッションも開催。さらに、三陸の郷土菓子を囲んでの気軽な「お茶っこの会」も終日実施します。活字を通してもっと釜石が好きになる、そんな1日となるはずですよ。

【参加費】300円(オリジナル活字カード制作体験、材料費、お茶・お茶菓子含む)

【お申し込み不要】

入退場自由、年齢制限なし(お子様も歓迎です)

※15:00よりミニ・トークセッション行います。

出演：藤澤敏(フジサワ代表)、溝上幾久子(版画家)ほか

## 「足りない活字のためのことば」

### 朗読会

2014年5月24日(土) 18:30~20:30

\*朗読は19:00頃より

釜石を想い、「ことば」を紡いだ作家が来場し、作品の自作朗読を行います。作品に託された想い、わずかな活字による創作のご苦労、釜石で過ごした時間について、お話を伺います。時間がゆるす限り、参加いただいた方との交流の機会も設けたいと思います。どなたでも気軽に楽しんでいただけるイベントです。

【出演予定】

乙益由美子、ばくきよんみ、ドリアン助川、溝上幾久子

※出演者は予告なく変更となる場合がございます。

【予約制】先着20名、無料

【お申し込み先】

@リアスNPOサポートセンター

TEL 080-2842-1818

担当：一兜(ひとつかぶと)・常陸(ひたち)

関連特別企画

KAMAISHI LETTERPRESS → <https://www.facebook.com/kamaishiletterpress>

{お問い合わせ先}



【企画について】

KAMAISHI LETTERPRESS 坂井(さかい)

TEL : 090-2175-4175

MAIL : pukachon.0916@gmail.com

【会場について】

@リアスNPOサポートセンター

TEL : 080-2842-1818

担当：一兜(ひとつかぶと)・常陸(ひたち)